

世界のこども日本語ネットワーク推進事業
第2回 海外児童日本体験プログラム
海外招聘校・日本国内参加校 決定

財団法人 博報児童教育振興会（理事長 近藤道生）は、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」（※別紙2参照）の2番目のプログラム「海外児童日本体験プログラム（日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成）」に参加する海外招聘校と国内参加校を決定いたしました。

- ・ 厳正な選考の結果、海外招聘校は当事業1番目のプログラム「海外教師日本研修プログラム」に参加した学校の中から、9ヶ国9校を選出いたしました。（別紙1）
- ・ 国内参加校は公募の結果、2校に決定いたしました。（別紙1）
- ・ 本プログラムは2009年6月1日～6月9日に社団法人 国際日本語普及協会の協力のもと実施されます。

◆ 実施スケジュール

- 2009年6月1日～6月9日
（入国日：2009年5月30日及び31日／出国日：2009年6月10日）

◆ 来日後の体験概要

- 日本の中学校訪問、生徒とのテーマ討論・交流プログラム
- 日本の伝統文化・生活を知る各種体験プログラム
- ホームステイ
- ジャンボリー（キャンプファイヤー）ほか

<第2回 海外児童日本体験プログラム・概要>

- ・ 2007年3月に開始いたしました「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」は、4つのプログラムで構成されております。「海外児童日本体験プログラム」は、2008年10月に実施した「海外教師日本研修プログラム」に続く、当事業2番目のプログラムです。
- ・ 本プログラムは、海外の初・中等教育機関で日本語を学ぶ外国人児童・生徒を日本へ招聘し、日本の文化・社会体験や日本の児童・生徒との日本語による交流プログラムを通じて、日本語と相互の文化への理解と関心を深めることを目的としております。
- ・ また、本プログラムで形成された国内外校のネットワークは、日本生徒が海外校を訪問し日本語で交流する、当事業3番目のプログラム「日本児童海外体験プログラム」へとつながっていきます。（※ 別紙2事業構造図参照）

<この件に関するお問合せ>

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階

財団法人 博報児童教育振興会

TEL 03(5570)5008

FAX 03(5570)5016

Eメール hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

(別紙1) 第2回 海外児童日本体験プログラム 招聘校一覧

招聘校	国名	引率者
Delhi Public School Dwarka	インド (ニューデリー)	J・モニカ シャルマ
Pandaan 1st State Junior High School	インドネシア (東ジャワ)	イマッド ファイツ
Prachinratsadornamroong School	タイ (プラチンブリー)	サクシー ネットハーン
台北市私立天主教静修女中 (カトリック静修女子高校中学部)	台湾 (台北)	王念慈
Janos Hunfalvy Teacher Training and Bilingual Vocational Secondary School of Economics and Foreign Trade	ハンガリー (ブダペスト)	ユハース ボルバーラ アンナ
Tay Son Junior High School	ベトナム (ダナン)	グエン テイ モン ジエプ
Tun Syed Sheh Shahabudin Science Secondary School	マレーシア (ペナン)	アン チュイ イエン
Khan-uul District Foreign Language School of 18	モンゴル (ウランバートル)	ダムダンスレン エルデネソウダ
Emil Racovita School, No.93	ルーマニア (ブカレスト)	バルブ ラビニア

受け入れ校	所在地	学校訪問受入日
桐光学園 中学校	神奈川県川崎市	2009年6月3日
青梅市立第六中学校	東京都青梅市	2009年6月4日

ジャンボリー(林間学校型交流イベント)参加校	所在地	参加日
桐光学園中学校	神奈川県川崎市	
青梅市立第六中学校	東京都青梅市	2009年6月6日～7日
大妻嵐山中学校	埼玉県比企郡	

(別紙2) 「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」について

博報児童教育振興会は、1970年児童教育を振興する目的で文部省（当時）認可の財団法人として設立されました。以来、児童・生徒の教育において優れた実績を上げられた個人・団体を顕彰する「博報賞」をはじめ、時代の変遷に併せて多角的な支援を行うべく、事業を拡充・発展させて参りました。

そして2007年3月、国際化が進む昨今において、日本の児童が日本のことばと文化の的確な理解に根ざし、さらに健全な国際人へ成長することを支援するため、日本の児童・生徒の異文化体験、日本語を学ぶ海外の児童・生徒の日本体験を核とした、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」を開始いたしました。

◆ 事業構造

本事業は、日本児童・生徒と海外で日本語を学ぶ児童・生徒との交流と、海外の日本語授業環境整備のための助成活動を、4つのプログラムで構成し、これを一定のサイクルで実施する構造となっています。

◇ 海外教師日本研修プログラム（海外日本語授業環境整備助成）

海外の初・中等教育機関（日本の小・中学校に相当）の日本語教師（日本人を除く）を日本に招聘し、研修会の実施など授業環境整備に向けた支援を行う。

◇ 海外児童日本体験プログラム（日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成）

海外の初・中等教育機関（日本の小・中学校に相当）で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招聘し、日本の先端技術や伝統芸能などの文化・社会体験と、学校訪問などの交流を通じた日本語・日本文化への理解と関心の向上を図ってもらう。

◇ 日本児童海外体験プログラム（日本児童・生徒の海外異文化体験助成）

日本の児童・生徒の海外訪問を支援することで、同世代の海外の児童・生徒との日本語を通じた交流と、異文化体験による日本語・日本文化の再認識、および国際人としての自覚醸成を促進する。

◇ Webプログラム“HGN”（Webを通じた相互コミュニケーションの推進）

登録すれば誰でも参加できる財団が運営する情報ネットワーク基地。様々な相談に対する助言や情報提供など、Webを通じて双方向で展開し、日本語のグローバルネットワーク形成を推進する。

<事業構造図>

